

令和7年度 第3回 竜禅寺小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年11月18日（火）14時00分から15時20分まで
- 2 開催場所 竜禅寺小学校 各教室・会議室
- 3 出席委員 高須 道男、柳川 春彦、松本 直己、新井 和美  
加藤 京子、鈴木 宏幸、北井 実香、青島 早苗
- 4 欠席委員 寺田 成一、中村 哲也
- 5 オブザーバー 加藤 晴康（南部協働センター所長）
- 6 学 校 谷野 幸代（校長）、平本 智之（教頭）、近藤 仁志（教務主任）、  
中村 朝実（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 中村 朝実（CSディレクター）
- 9 議長の選出

高須会長より、青島委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを了承した。

10 協議事項

- （1）授業参観より職員や子供たちの様子について
- （2）教育活動の充実について～子供たちの言語環境～

11 会議記録

司会より委員総数10名のうち8名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）授業参観より職員や子供たちの様子について

- ・終わりの挨拶がしっかりできている。授業の様子を見て、先生の表情が良いと感じた。

（松本委員）

- ・タブレットを使いながら授業を行っていた。差ができないように教えていくことが難しいと思う。たつのご学級では、段ボールを使ってものづくりをしていた。今の時代AIで何でも解決するが、アナログなことも大切にしていきたい。（新井委員）

- ・5年の手紙の授業はとても良い授業だったが、学習に積極的でない児童もいたのが残念であった。授業の内容はとてもすばらしかった。

6年生は、楽しそうに授業をしていてとてもよかった。学ぶ基礎がしっかり身に付いている。

2年生は、九九づくりをしていた。とても一生懸命取り組んでいて好感が持てた。とても元気いっぱいだった。（高須委員）

- ・たつのご学級の算数（とても難しい内容）は、スムーズに授業が進んでいた。

前回の参観会の理科の実験について、安全面への配慮がとてもされていたが、実験のとき座ってやってもよいという指導があった。どうなのか。（柳川委員）

- ・ かげが流行している学校もあるが、みんな元気に過ごせているので良い。算数の考え方を問うことについては、しっかりできている。5年の「手紙」の授業については、年齢や家庭環境によっても感じ方が違ってくる。5年生が適切だったのか。もっと下の学年でやってみても良いのではないか。真剣に人の話を聞くことが必要。(鈴木委員)
- ・ 同じ学年でもクラスの雰囲気が違うと感じた。先生の話し方、声の大きさやスピードを発達段階に応じて工夫している。先生の負担が大きいと感じた。給食支援などお手伝いできることがあれば、協力できるとよい。(北井委員)

## (2) 教育活動の充実について～子供たちの言語環境～

教頭より子供たちの言語環境（言葉遣いを丁寧にしていきたい）について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 家庭でしっかり注意することが大事。さくら連絡網で呼び掛けると良い。配信されたものは見逃さないとと思う(北井委員)
- ・ 子供の教育が学校任せになっている。親に原因があることが多いのではない。言っても聞かない。学校の先生に負担がかかっている。(新井委員)
- ・ テレビやネットで言葉が氾濫している。「超」「やべえ」など、すぐに使って常用語のようになっている。親は注意するけれどきかない。(松本委員)
- ・ テレビでは、相手を誹謗中傷する言葉遣いが溢れている。生活を取り巻く環境に刺激がありすぎる。使い分けが必要。(鈴木委員)
- ・ どんな言葉がいけないのか。クラスごとに言葉を監視するような委員をつくり、一人一人が周りの言葉を気にして生活すると改善される可能性がある。当然教師のサポートが必要。いじめにつながる可能性もあるので、どうやっていくかは難しいところがある。(高須委員)
- ・ メディアの影響はとても大きい。相手をリスペクトすることは、大切にしていきたい。試験的に一部の学年でやっていけたらいい。ケンカになったときに周りの子がどう対応するのかは見てみたい。サッカーでは、よく髪の毛をひっぱるようなケンカがあった。いつの間にか、仲直りして練習にも参加していた。言語環境はすぐには改善されないが、相手をリスペクトする活動や縦割り活動を充実していき、少しずつでも減らしていくことが大事。(高須委員)
- ・ 関西では、「アホ」は日常的につかっている。方言などその地方の言葉がある。(鈴木委員)
- ・ 言葉の持つ強さと弱さを知らないといけない。言葉を出し合ってグループ討議できたらいい。言葉の持つ怖さなども討議していったらいい。親が知らないうちに使っているから子供も使う。(松本委員)
- ・ Lineなどで、顔が見えないから強い口調で言葉を発していることがある。発した言葉を悪いと子供は思っていない。(新井委員)
- ・ 児童の名前の呼び方「～さん」を繰り返すことで定着されてきた。言葉遣

いについては、子供から「これはやめたいな」という言葉を決めさせて、やってみたらかなりのことはできるような気がする。(柳川委員)

- ・言葉を悪いと思ってない。テレビの影響が多い。お笑い芸人等の影響で悪い言葉を使っている。あと YouTube などの影響が大きい。(新井委員)
- ・「うざい」「きもい」について、女子同士が言い合うと嫌な雰囲気が出る。(高須委員)
- ・障害者をバカにするような言葉を発することがあり良くない。(青島委員)
- ・障害に対しては、明らかな差別用語である。相手へのリスペクトが欠けている。(高須委員)

#### 連絡・報告事項

- ・交通安全について
- ・なわとびカードについて
- ・昼休みの過ごし方

次回の学校運営協議会は令和8年2月17日(火)14時10分から会議室にて開催する旨の報告があった。